

# 平成 22 年度通常総会 議案

平成 22 年度  
事業報告、正味財産増減計算書、貸借対照表  
自平成 22 年 1 月 1 日 至 平成 22 年 12 月 31 日

平成 23 年度  
事業計画、収支予算書  
自平成 23 年 1 月 1 日 至 平成 23 年 12 月 31 日

その他議案

平成 22 年 3 月 8 日  
社団法人北海道倶楽部

# 平成 22 年度通常総会 議案

平成 22 年度

事業報告、正味財産増減計算書、貸借対照表

自平成 22 年 1 月 1 日 至 平成 22 年 12 月 31 日

平成 22 年度庶務事項報告	・ ・ ・ ・ ・ 1
平成 22 年度事業報告	・ ・ ・ ・ ・ 8
同上詳細（会報記事など）	・ ・ ・ ・ ・ 13
平成 22 年度会員異動状況	・ ・ ・ ・ ・ 22
正味財産増減計算書	・ ・ ・ ・ ・ 23
同上内訳書 （事業別区分経理の内訳書）	・ ・ ・ ・ ・ 24
キャッシュフロー計算書	・ ・ ・ ・ ・ 25
貸借対照表	・ ・ ・ ・ ・ 26
財産目録	・ ・ ・ ・ ・ 27
収支計算書	・ ・ ・ ・ ・ 28
計算書類に対する注記	・ ・ ・ ・ ・ 29
監査報告書	・ ・ ・ ・ ・ 30

平成 23 年度

事業計画、収支予算書

自平成 23 年 1 月 1 日 至 平成 23 年 12 月 31 日

平成 23 年度事業計画	・ ・ ・ ・ ・ 31
平成 23 年度収支予算書	・ ・ ・ ・ ・ 33

その他議案

定款第 11 条に基づく 会費未納者等の除名について	・ ・ ・ ・ ・ 34
-------------------------------	--------------

（金額は原則円単位です。）

# 平成22年度庶務事項報告

平成22年1月1日から平成22年12月31日まで

種 別	概 要
1. 通常総会 3月8日	<p><b>第1号議案</b> 「平成21年度 事業報告、貸借対照表、正味財産増減計算書」ほか承認の件</p> <p><b>第2号議案</b> 「平成22年度 事業計画、事業予算書」承認の件</p> <p><b>第3号議案 その他総会議案</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「理事・役員」選任の件</li> <li>2. 「相談役・顧問・参与」選任の件</li> <li>3. その他</li> </ol> <p>(於 東京 恵比寿 サッポロビール(株) 本社講堂)</p>
2. 理事会 2月18日	<p><b>第1号議案 通常総会議案の件</b> 平成22年3月8日開催の平成21年通常総会議案について。</p> <p><b>第2号議案 役員退任、新入会員審査の件</b> 平成21年12月26日死去 理事 金留 英資(就任日平成16年3月23日) 新入会員別紙記載のとおり</p> <p><b>第3号議案 その他</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 後援名義の付与について <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 劇映画『大地の詩 -this one thing I do- 留岡幸助物語』</li> <li>(2) 第26回太田義久書の個展(当倶楽部正会員)</li> </ol> </li> <li>2. 北方領土返還運動普及のための「きっかけグッズ」頒布事業の状況について 2月17日現在 頒布数 2,531個</li> <li>3. 新年交礼会実施結果について キャンペーン 「北方領土返還」と「北方領土返還運動普及のための“きっかけグッズ”の頒布」 1月22日(金)18時 ホテルニューオータニ麗の間 参加者 約200人</li> <li>4. 総会は3月8日(月曜日)12時30分(サッポロビール本社講堂)の予定</li> <li>5. ・事務局次長(岡見)3月定年退職予定 ・会報業務委託(担当 布施、上出)、6月終了予定 ・当面3月より派遣を2名体制とする。</li> <li>6. 平成22年の理事会予定 (於 山王茶寮、日枝神社境内)</li> </ol>
4月30日 (書面理事会)	<p><b>第1号議案</b> 新入会員審査の件</p> <p><b>第2号議案 その他</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ブラウンリボンバッジ頒布の状況(平成22年4月14日現在) 頒布等の総数は4,267個である。 バッジ製作費(5,500個) 646,275円 切手、現金、請求分、倶楽部自己使用分等 合計収入(頒布等総数は4,267個)</li> </ol>

種 別	概 要
	<p style="text-align: right;">715,000 円</p> <p>差引金額 <span style="float: right;">68,725 円</span></p> <p>2. 後援名義の使用承認の件 道産子サッポロビール会</p> <p>3. 交流の夕べ（予定） 8月4日 18時 銀座ライオンを仮予約中</p> <p>4. 理事会の予定 （書面理事会）</p>
6月17日	<p><b>第1号議案 交流の夕べの件</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日時：平成22年8月4日（水）18～20時</li> <li>・場所：銀座スターホール（東京都中央区銀座5-8-1 サッポロ銀座ビル9F）</li> <li>・会費 7,000円</li> <li>・参加者 広く募集する、約100人の予定</li> <li>・予定行事</li> </ul> <p>1. 北海道倶楽部の下記キャンペーンの広報活動を行う。</p> <p>① 北海道新幹線早期実現推進「新幹線早期実現」バッジ キャンペーン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ブラウンリボン」バッジと同様、北海道新幹線早期実現推進（含む延伸）運動のキャンペーン用バッジを作成し実費配布する。</li> <li>・会員、「交流の夕べ」参加者には無償で配布する。</li> <li>・「交流の夕べ」を正式なバッジのお披露目とする。</li> <li>・バッジの配布方法、対価等は「ブラウンリボン」バッジに準じる。</li> </ul> <p>バッジのイメージ (25mmx25mm)</p>  <p>② 北方領土返還運動推進「ブラウンリボン」バッジ キャンペーン</p> <p>③ ふるさと納税 キャンペーン</p> <p>今回開始する①を中心に北海道倶楽部のキャンペーンを紹介、広報する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2. 北海道関係者の交流に資する。</li> <li>3. アトラクション（「ビヤホールの日」のアトラクションを招致）</li> </ul> <p><b>第2号議案 特別講演会の件</b></p> <p>北海道倶楽部の北方領土返還運動推進「ブラウンリボン」バッジ キャンペーンにちなみ特別講演会を行う。</p> <p>演題：「北方領土問題と北海道」ほか 講師：衆議院外務委員長鈴木宗男先生 8月24日（火）13時30分～14時30分 場所：サッポロビール本社講堂</p> <p><b>第3号議案 第29回北方領土ノサップ岬マラソン大会協力の件</b></p> <p>「ブラウンリボン」バッジ キャンペーンと昨年の「提案募集」の主旨に鑑み、標記に対応する。</p> <p>協力内容：マラソン大会の「プログラム広告」と「賞品提供（北海道倶楽部賞）」 日時等：8月22日（日）8時～ 根室市役所前集合、約600名参加</p>

種 別	概 要
	<p>担当倶楽部役員、予算等：協議の上決定（総予算 5 ～ 6 万円程度）</p> <p><b>第 4 号議案 北海道フェア参加の件</b></p> <p>昨年は秋葉原の千代田区グリーンフェスティバル 2009 に参加したが、本年は代々木の北海道フェアに参加する。（詳細は幹事会で検討する。）</p> <p>(1) 参加内容：北海道情報の発信（倶楽部キャンペーンの広報を含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ テント内にテーブルを設置パネル、パンフレット展示</li> <li>・ 北海道情報紙“北海道 NOW”を渋谷近辺に新聞折り込みもしくはポスティングにて配布</li> </ul> <p>北海道物産の販売、プレゼントの頒布</p> <p>(2) 日程：10月1～3日 代々木公園 B 地区イベント広場（NHK ホール横）</p> <p>(3) 予算：北海道情報紙“北海道 NOW”印刷・配布 100 万円  イベント会場関連費用 50 万円 計 150 万円</p> <p><b>第 5 号議案 役員改選、新入会員審査の件</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 理事交代</li> </ul> <p>平成 22 年 6 月 17 日辞任 宇佐美 暢子  平成 22 年 6 月 17 日就任 高橋 純二</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 監事交代</li> </ul> <p>平成 22 年 6 月 17 日辞任 田中 修  平成 22 年 6 月 17 日就任 日置 典宏</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 部会幹事交代については検討中</li> <li>・ 新入会員審査</li> </ul> <p><b>第 6 号議案 その他</b></p> <p>1. 交流イベントの件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本年の交流イベントは会場を「明治記念館」に変更して、10月27日（水）18時に行う。協賛、入場券の事前購入が年々少なくなっているのご協力をお願いしたい。</li> <li>・ 実施するキャンペーン等については幹事会で検討中。</li> </ul> <p>2. 北海道事務所建て替えについて</p> <p>平成 20 年 12 月 17 日の理事会で北海道に「意見書」を提出する決定をしていた。その後経済状況の変化があり、計画が中断されていたので「意見書」提出を控えていたが、計画が再開されそうであるので、別添の「意見書（案）」を用意し、状況に応じて速やかに提出することとする。</p> <p>3. 後援名義の使用承認の件（別添「後援名義資料」事後承認）</p> <p>「NPO 法人北海道科学活動ネットワーク」からの「10 青少年のための科学の祭典北海道大会」開催に伴う後援名義の使用承認について（昨年と同様であるので資料省略）</p> <p>4. 以後の理事会等予定</p> <p>8月31日（書面理事会） 10月21日（木）12時 12月16日（木）12時  （於 北海道東京事務所 会議室）</p>

種 別	概 要												
<p>8月31日 (書面理事会)</p>	<p><b>第1号議案 「第14回交流の夕べ」開催報告の件</b>  参加 134 名</p> <p>1. 公益事業費  交流の夕べ概算公益事業費  主要項目</p> <table border="0"> <tr> <td>交流の夕べ費用（サッポロライオン払い）</td> <td>59 万円</td> </tr> <tr> <td>その他（案内郵送ほか）費用</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>受付 2 人、交通費</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>支出合計</td> <td>63</td> </tr> <tr> <td>交流の夕べ 参加費収入</td> <td>95</td> </tr> <tr> <td>差引収入</td> <td>32</td> </tr> </table> <p>2. 開催状況等  新幹線「早期実現バッジ」、北方領土早期返還「ブラウンリボンバッジ」、ふるさと納税「ギフトカタログ」のキャンペーン実施。  森繁建（たつる、故久彌さんの次男）さんも出席し、北方領土と「ちぎれ千島に雲が飛ぶ」（森繁久彌作詞、別添）への思いを語った。  盛会にてキャンペーンを行った。  以下に記事が掲載された。  産経新聞、北海道新聞</p> <p><b>第2号議案 「第29回 北方領土ノサップ岬マラソン」協力の件</b>  8月21日根室市で実施、参加者約750人（過去最多）。  当日のプログラムに広告出稿（別添）、北海道倶楽部賞提供、ブラウンリボンバッジと「ちぎれ千島に雲が飛ぶ」配布などで北方領土返還運動を推進。  当日、倶楽部から小池副会長（兼北海道支部長）が式典に参列した。盛会にて終了。</p> <p><b>第3号議案 特別講演会開催の件</b>  8月24日13時30分～14時30分 サッポロビール本社講堂で実施  演題「北方領土問題と北海道」  講師 鈴木宗男新党大地代表、衆議院外務委員長  聴衆 約90名（参加者名簿 別添）  北方領土返還運動推進ブラウンリボンバッジキャンペーンの一環でもある。  外交交渉を含め北方領土問題の内幕を語る。</p> <p><b>第4号議案 第47回「交流イベント We Love Hokkaido –各種キャンペーン」開催の件</b>  上記名称にて、通算47回目の交流イベント（旧道産子の会）を開催する。  当倶楽部では、昭和37年9月の「北海道交歓パーティー」を初回として、「道産子の会」を開催してきた。今年は第47回目にあたる。今回は、公益事業の視点から、北海道倶楽部が行っている北海道のための各キャンペーンを中心とする。  このイベントは、毎度多くの会員ほか各位からのご協賛に支えられています。</p>	交流の夕べ費用（サッポロライオン払い）	59 万円	その他（案内郵送ほか）費用	2	受付 2 人、交通費	2	支出合計	63	交流の夕べ 参加費収入	95	差引収入	32
交流の夕べ費用（サッポロライオン払い）	59 万円												
その他（案内郵送ほか）費用	2												
受付 2 人、交通費	2												
支出合計	63												
交流の夕べ 参加費収入	95												
差引収入	32												

種 別	概 要
	<p>つきましては、多くの方々が期待されておりますので、依然厳しい経済状況など、激動の社会経済状況のなか、誠に恐縮に存じますが、理事、役員、維持会員企業各位におかれましては第47回「交流イベント」を成功裡に執り行うために、格別のご協賛を賜りますようお願いいたします。</p> <p>開催日時 平成22年10月27日18時～20時</p> <p>場所 明治記念館 富士の間（昨年と会場が変更となりました。）</p> <p>開催内容 会場は変更となったが、昨年に準じて実施する。北海道倶楽部の主催とする。</p> <p>① ふるさと納税キャンペーン  ② 北方領土返還推進「ブラウンリボンバッジ」キャンペーン  ③ 北海道新幹線早期実現「新幹線バッジ」キャンペーン  ④ 北海道産品の配布  ⑤ 福引き</p> <p>※実施アトラクションは検討中、協賛金、協賛品、入場券の前売り実施。</p> <p><b>第5号議案 新入会員審査の件</b></p> <p><b>第6号議案 理事 辞任、就任ほかの件</b></p> <p>下記の通り、ご承認願います。</p> <p>平成22年8月31日理事辞任  片山 知洋、吉本 浩昌</p> <p>平成22年8月31日理事就任（任期平成24年3月22日まで）  恩村 裕之、二階堂 裕隆</p> <p>上記に伴う理事、監事は別紙のとおり。（平成22年8月31日現在）</p> <p>総会后、就任承諾書の提出をいただいて、ご就任された相談役、顧問、参与は別紙のとおり。（平成22年8月31日現在）</p> <p><b>第7号議案 新公益法人制度移行業務の業務委託の件</b></p> <p>新公益法人制度移行業務について、下記のとおり業務委託したいのでご承認願います。</p> <p>業務内容  新公益法人制度移行に関する定款作成、倶楽部の体制確立、認定申請等の一切の業務。</p> <p>（公益認定を軸とした業務委託をするが、倶楽部の方針が一般社団法人移行に変更した場合はこれに合わせ業務内容も変更するものとする。）</p> <p>業務委託先：五十嵐 紀男弁護士（北海道倶楽部 正会員）</p> <p>1966 検事任官（東京地検） 以後、福岡（飯塚・小倉支部）、東京、札幌、宇都宮、東京各地検検事、司法研修所教官、東京地検特捜部副部長、公安調査庁総務課長、東京地検総務部長、東京地検特捜部長、最高検検事を歴任。</p> <p>1998 横浜地検検事正 1999 検事退官 2000 公証人任官（八重洲公証役場） 2010 公証人退官 2010 弁護士登録（第二東京弁護士会）</p> <p>業務報酬 業務量（時間）に応じた報酬で協議中  （書面理事会）</p>

種 別	概 要
10月21日	<p><b>第1号議案 キャンペーン等報告</b></p> <p>(1) 北海道フェア in 代々木開催結果について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10月1～3日代々木公園で開催（6月理事会での承認予算は50万円、会場費の請求額は未定だが予算内の予定）</li> <li>・総入場者約37万人</li> <li>・北方領土返還、北海道新幹線早期実現、ふるさと納税キャンペーンを行った。</li> <li>・ジャガイモ等の販売を行った。</li> </ul> <p>仕入れ金額 775,295円  販売金額 620,016円  仕入れ金額と販売金額の差額（一部は交流イベントに振替）155,279円</p> <p>完売 トマトジュース、ニンジンジュース、ハム、ジャガイモ  売れ残りの商品 ジャーキー、たべるラー油、北海道グリーン</p> <p>27日の交流イベントで賞品等として引き受ける。</p> <p>(2) 北海道情報紙 北海道“NOW”の配布について</p> <p>北海道情報（キャンペーン等）の発信と北海道フェアの告知を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・11万部印刷し、代々木沿線に新聞（全国紙3紙）の折り込み配布をした。</li> <li>・北海道フェア in 代々木会場内で配布した。</li> </ul> <p>印刷代241,500円、折り込み346,500円、会場内配布154,500円、合計 682,500円 税込  （6月理事会での承認予算は100万円）</p> <p>(3) ふるさと納税対応について（10月18日現在）</p> <p>本年ふるさと納税ギフト申込者数 28人、総寄附額 280万円</p> <p>(4) 北方領土返還運動推進ブラウンリボン配布について（10月18日現在） 累計配布数（無料分を含む）7,296個</p> <p>(5) 早期実現 北海道新幹線バッジ配布について（10月18日現在） 累計配布数（無料分を含む）2,744個</p> <p>(6) 第47回交流イベント開催の現況について（10月18日現在）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次第（予定）は別紙の通り</li> <li>・入場券 事前販売入場券103枚（103万円相当）</li> <li>事前贈呈招待券176枚（御協賛のかた） 小計279枚</li> <li>当日売入場券 120枚（予想 120万円）</li> </ul> <p>合計399枚（予想数380人、申込総人数 {集計中} 239人）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協賛金 185万円</li> <li>・予想現金収入合計 408万円（事前販売、当日売、協賛金）</li> </ul> <p>(7) 新年交礼会について</p> <p>昨年同様に実施したい。1月28日（金）18時ホテルニューオオタニの間</p> <p><b>第2号議案 新入会員審査の件</b></p> <p><b>第3号議案 北海道事務所建て替えについて</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6月理事会で、北海道事務所建て替えについての提出文書作成に当たっては、以下の点に留意すべしとされていた。</li> </ul>

種 別	概 要
	<p>「北海道事務所建て替えについては単なるお願いの文書ではなく、北海道倶楽部の貢献によって北海道事務所建設が行われた歴史を記し、応分の配慮をもって倶楽部の新事務所に対応していただくようにすべきである。」</p> <p>・別紙新聞記事にあるように、計画が具体的になってきたので、本日川城北海道東京事務所長に状況をお伺いしたうえ、理事会の承認をいただき、別紙の文書を知事宛に提出したい。</p> <p>第4号議案 その他</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 次回12月理事会は16日12時の予定です。</li> <li>2. 以後の理事会ほか予定</li> </ol> <p>(於 北海道東京事務所 会議室)</p>
<p>12月16日 (事業報告にかかる部分は当該報告に記す)</p>	<p><b>第1号議案 本年度事業報告、来年度事業計画策定の方針（総会議案）</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 本年度事業報告案は別紙の案を基に作成したい。</li> <li>(2) 来年度事業計画については、本年度の事業と同様に事業を行うことを基本方針として作成する。計画実施に当たっては、北海道東京事務所の建て替えの影響を考える必要がある。</li> <li>(3) 各事業における具体のコンテンツは本年のコンテンツを基に各部会で協議し検討のうえ実施することとする。</li> <li>(4) 総会に会員除名の議案を提出したい。(対象は下記会員) <ol style="list-style-type: none"> <li>① 3年間会費未納の会員</li> <li>② 連絡先変更の知らせが無く連絡がつかず会費の請求もできない会員</li> </ol> </li> </ol> <p><b>第2号議案 新入会員審査の件、会員数について</b></p> <p><b>第3号議案 その他</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. キャンペーン報告(12月14日時点) <ol style="list-style-type: none"> <li>① ふるさと納税キャンペーン</li> <li>② 北方領土返還推進「ブラウンリボンバッジ」キャンペーン</li> <li>③ 北海道新幹線早期実現「新幹線バッジ」キャンペーン</li> </ol> </li> <li>2. 第47回交流イベント報告～盛会にて終了した。</li> <li>3. 鈴木章北大名誉教授(ノーベル化学賞、文化勲章)の、名誉会員(尊称)就任について</li> <li>4. 北海道事務所建て替えについて</li> <li>5. 新年交礼会について</li> <li>6. 公益法人移行について</li> <li>7. 北方領土現地視察について</li> <li>8. 総会は3月8日(火曜日)12時30分の予定。</li> <li>9. 会報配布先追加について 維持会員へ配布を追加したい。</li> <li>10. 平成23年の理事会予定</li> </ol>

# 平成22年度事業報告

平成22年1月1日から平成22年12月31日まで

種 別	概 要
<p><b>1. 交流事業</b> 新年交礼会 1月22日</p>	<p>・1月22日(金)18時 ホテルニューオータニ麗の間 会費1万円 ・200人超の参加で、キャンペーン「北方領土返還運動推進！」をテーマに新年交礼会を開催した。 ・北方領土返還運動推進のための「きっかけグッズ」としてブラウンリボンバッジを製作し新年交礼会で発表・配布を開始した。 ・高橋北海道知事も出席し、バッジを着用し祝辞に立った。 (別添会報記事参照) ・ブラウンリボンバッジ配布開始については、新聞記事にも取り上げられ、鳩山総理(倶楽部会員)が国会の予算委員会でバッジを着用している姿がテレビで放映された。</p>
<p>交流の夕べ 8月4日</p>	<p>・日時：平成22年8月4日(水)18～20時 ・場所：銀座スターホール(東京都中央区銀座5-8-1 サッポロ銀座ビル9F) ・会費7,000円 ・参加者 参加134名 ・新幹線「早期実現バッジ」、北方領土早期返還「ブラウンリボンバッジ」、ふるさと納税「ギフトカタログ」のキャンペーン実施。 ・「交流の夕べ」を新幹線「早期実現バッジ」のお披露目とする。 ・森繁建(たつる、故久彌さんの次男)さんも出席し、北方領土と「ちぎれ千島に雲が飛ぶ」(森繁久彌作詞、別添)への思いを語った。 盛会にてキャンペーンを行った。 以下に記事が掲載された。 産経新聞、北海道新聞 (別添会報、新聞記事参照)</p>

## 社団法人北海道倶楽部 *We Love Hokkaido* 平成22年新年交礼会

- |   |  |
|---|--|
| <p>1. 開会の辞<br/>北海道倶楽部副理事長 香西 慧</p> <p>2. ご挨拶～キャンペーンについて<br/>北海道倶楽部理事長 西村 守正</p> <p>3. 来賓祝辞<br/>北海道知事 高橋 はるみ様<br/>独立行政法人<br/>北方領土問題対策協会 理事長 間瀬 雅晴様</p> <p>4. 来賓ほかのご紹介(敬称略)<br/>主催者ご挨拶<br/>北海道倶楽部会長 松田 昌士</p> <p>6. 乾杯<br/>北海道倶楽部副会長 村上 隆男</p> <p>7. 懇談<br/>積極的な交流(名刺交換など)を願います。<br/>6:30</p> <p>8. 閉会(流れ解散) 8:00</p> | <p>4. 来賓ほかのご紹介(敬称略)<br/>衆議院議員(および事務所の方)<br/>荒井 聡<br/>逢坂 誠二<br/>国土交通省<br/>大臣官房書庫官 高松 泰<br/>独立行政法人 北方領土問題対策協会<br/>理事長 間瀬 雅晴<br/>北海道<br/>知事 高橋 はるみ<br/>東京事務所長 川城 邦彦<br/>道内市町村東京事務所長<br/>帯広市 神田 聖紀志<br/>釧路市 川村 修一<br/>室蘭市 佐賀 孝志<br/>札幌市 堀川 政司<br/>ご招待<br/>俳優 山田 吾一</p> |
|---|--|
- 平成22年北海道倶楽部新年交礼会 平成22年1月22日(金) 午 時～8時 会場 ホテルニューオータニ「麗の間」

**キャンペーン**  
**北方領土返還運動推進!**

ご来場の方は「ブラウンリボン」バッジをお付けいただけますよう、お願い申し上げます。

## 第14回北海道倶楽部交流の夕べ 平成22年8月4日(水) 銀座スターホール

- 次第  
(開始18時00分)
- |                                  |  |
|----------------------------------|--|
| 1. 開会挨拶<br>会長挨拶                  | 西村 守正(理事長)<br>松田 昌士(会長)  |
| 2. 祝 辞                           | 川城 邦彦様(北海道東京事務所 所長)  |
| 3. ご来賓、国会議員ほかご紹介<br>新入会員ご紹介      | (名簿〇印記載の通り)(敬称略)<br>昨年来の「新入正会員」および「新入維持会員所属の登録会員」のいずれも出席者(名簿※印記載の通り) |
| 4. 乾 杯(18時30分)                   | 村上 隆男 (副会長)  |
| 5. 懇 談                           |  |
| 6. アトラクション(19時)                  | サンバ  |
| 7. 抽選会(19時30分)                   | 香西 慧(副理事長)   |
| 8. 中締め(20時00分)<br>(20時00分～ 流れ散会) | 村上 隆男(副会長)   |

### 第14回 交流の夕べ 社団法人北海道倶楽部

**キャンペーン**



新幹線  
早期実現



ブラウンリボン  
北方領土返還



ギフトカタログ  
ふるさと納税

**ブラウンリボンバッジ頒布申込方法** (原稿をいただきます。)

社団法人北海道倶楽部では、頒布にあたって4個(最小注文単位)で1,000円としています。

1. 0.0円相当の切手を貼って下さい。4個単位での封入になります。

下記にて、返信先を記入した120円切手を貼った返信封筒とし、0.0円相当の切手を両封の上、郵送して下さい。一週間程度で、返信封筒に「ブラウンリボン」バッジを入れ返送します。

20個以上のお申し込みは、別途北海道倶楽部(03-3581-4021)にご相談下さい。

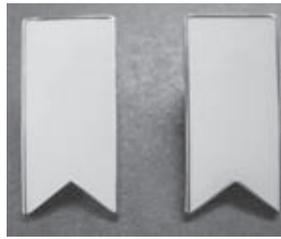
種 別	概 要
<p>北方領土ノサップ岬マラソンに協力 (北海道支部) 8月21日</p>	<p>「第29回 北方領土ノサップ岬マラソン」に協力 本件は、平成21年度事業の提案募集「北海道のために、われわれは何をすべきか」で優秀賞に選定された「北海道倶楽部賞の創設」という提案実施の一環としておこなわれた。 8月21日根室市で実施、参加者約750人(過去最多)。 北海道倶楽部賞提供、ブラウンリボンバッジと「ちぎれ千島に雲が飛ぶ」配布、当日のプログラムに広告出稿(下記)、などで北方領土返還運動を推進。 当日、倶楽部から小池副会長(兼北海道支部長)が式典に参列した。盛会にて終了。</p> <div data-bbox="443 600 1246 1167" data-label="Complex-Block"> <p><b>北方領土ノサップ岬マラソン大会 協力をしています</b></p> <p>社団法人北海道倶楽部は北方領土返還運動に協力しています</p> <p>2009年「北海道のために何をすべきか」をテーマに道内で提案を募集、その優秀作を実行に移すためこの大会に協力するものです。</p> <p>社団法人北海道倶楽部(会長松田昌士、東日本旅客鉄道株式会社相談役)とは、昭和2年新渡戸稲造博士など在京の北海道ゆかりの人たちが結成した団体です。親睦団体から公益団体として、公益事業を行う団体になってきました。</p> <p>最近では下記のキャンペーンなどを行っています。 北海道情報ラック、北海道情報展示・情報紙配布 「ふるさと納税」者にかたログギフトの贈呈 北方領土返還「ブラウンリボン」バッジ 早期実現北海道「新幹線」バッジ</p> <p><b>北方領土返還運動推進キャンペーン</b></p> <p>1. バッジの趣旨: 北方領土問題の早期解決実現のためには、政府の外交交渉と並行して、それをしっかり後押しする関係者の熱意と実行力が不可欠です。返還運動に関心を持つ方々の応援を増やすためには、底辺を拡大してその輪をさらに広げることが必要です。そのためには、「日常会話に登場する返還運動」へと転換する必要がありますが、それを可能にするためには、話題のきっかけとなる「きっかけグッズ」が有効です。その趣旨から、「きっかけグッズ」の頒布をすることとしました。</p> <p>2. 「ブラウンリボン」バッジ: 北朝鮮の拉致問題のシンボルマークとして市民権を得ているブルーリボンと同じ形の色違いのバッジです。色は北方四島の「土地」の色であるベージュがかかったブラウン(土色)です。「人の拉致」に対し北方領土問題は「土地の拉致」です。主権と尊厳を侵されている2つの大きな国際問題です。</p> <p>〒100-0014 東京都千代田区永田町2-17-17 北海道東京事務所4F 電話 03-3581-4021 FAX 03-3581-4022 社団法人北海道倶楽部 URL: <a href="http://www1.ocn.ne.jp/~h-c/">http://www1.ocn.ne.jp/~h-c/</a> mail:hkkd-clb@soleil.ocn.ne.jp</p> </div>
<p>北海道フェアに出展 10月1～3日</p>	<p>・北海道情報紙“北海道 NOW”を北海道倶楽部の出展の広報として、渋谷近辺に新聞折り込み、会場内にて配布、北海道物産の販売、プレゼントの頒布 ・日程：10月1～3日 代々木公園 B地区イベント広場(NHKホール横) ・北海道フェア in 代々木で北海道情報を発信(倶楽部キャンペーンの広報を含む)、テント3張りの内にテーブルを設置パネル、パンフレットを展示 ・北方領土返還、北海道新幹線早期実現、ふるさと納税の各キャンペーンを行った。 ・北海道物産(北海道洞爺湖サミット使用商品、世界遺産知床の商品、ふるさと納税ギフト関係商品)の販売を行った。 ・期間中の総入場者約37万人(北海道フェア in 代々木での総数)対象にキャンペーンをおこなうことが出来た。</p>
<p>第47回交流イベント 10月27日 (旧道産子の会)</p>	<p>開催日時 平成22年10月27日18時～20時 場所 明治記念館 富士の間(昨年と会場が変更) 開催内容 北海道倶楽部の主催</p> <p>・下記次第で盛会にて終了した。 ・参加者約500名</p> <p>We Love Hokkaido 北海道キャンペーン ①ふるさと納税キャンペーン ②北方領土返還推進「ブラウンリボンバッジ」キャンペーン</p>

種 別	概 要
	<p>③北海道新幹線早期実現「新幹線バッジ」キャンペーン</p> <p>④北海道産品の配布</p> <p>⑤福引き</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: right;"><b>We Love Hokkaido 北海道キャンペーン</b> ふるさと納税・北方領土返還・新幹線早期実現 <b>第四十七回交流イベント次第</b></p> <p style="text-align: right;">担当副理事長 香西 慧 司会 下角 陽子 十七時三〇分 受付開始 十七時四五分 歓 迎 歌うバイオリンスト「百香」 十八時〇〇分 開 演</p> <p><b>一、開会の辞</b> 北海道倶楽部理事長 西村 守正</p> <p><b>二、国土交通省ご挨拶</b> 国土交通副大臣 三井 辨雄 殿</p> <p><b>三、北海道ご挨拶</b> 副知事 高井 修 殿</p> <p><b>四、国会議員、市町村長、国土交通省、北海道、宮崎県関係者ほかご紹介</b></p> <p><b>五、「ちぎれ千島に雲が飛ぶ」について</b> 故・森繁久彌さん次男 森繁 建 殿</p> <p><b>六、「ちぎれ千島に雲が飛ぶ」葵 ひろ子 殿</b></p> <p><b>七、北海道倶楽部会長挨拶</b> 祝辞・ノーベル化学賞 鈴木章 北大名誉教授へ 北海道倶楽部会長 松田 昌士</p> <p><b>八、乾杯</b> 北海道倶楽部副会長 村上 隆男</p> <p><b>九、懇親</b> (十八時三〇分)</p> <p>歌うバイオリンスト「百香」 (十八時四十五分)</p> <p><b>十、福引き抽選</b> (十九時十五分)</p> <p><b>散会</b> (二十時予定)</p> </div>
<p><b>2. キャンペーン</b></p> <p>①ふるさと納税キャンペーン</p>	<p>交流事業、メディア事業、ダイレクトメールなどを活用し本年はふるさと納税ギフトの申込み数等は下記の通りであった。</p> <p>本年度申込者総数 57 名 (昨年 73 名)</p> <p>道：市町村比 23:50 (昨年 14:43)</p> <p>寄附金額総計 6,040,000 円 (昨年 8,160,000 円)</p>
<p>②北方領土返還推進「ブラウンリボンバッジ」キャンペーン</p>	<p>本年の新年交礼会から始めた事業である。</p> <p>1. 北方領土返還の意識を高めるための「ブラウンリボン」バッジを実費で頒布する。</p> <p>2. 趣旨： 北方領土問題の早期解決実現のためには、政府の外交交渉と並行して、それをしっかり後押しする関係者の熱意と実行力が不可欠ですが、返還運動に関心を持つ方々の応援団を増やすためには、底辺を拡大してその輪をさらに広げることが必要である。 そのためには、「日常会話に登場する返還運動」へと転換する必要がありますが、それを可能にするためには、話題のきっかけとなる「きっかけグッズ」が有効である。その趣旨から、「きっかけグッズ」の頒布活動を事業として推進するものである。</p> <p>3. 「ブラウンリボン」バッジ：(写真：事業報告 資料参照) 北朝鮮の拉致問題のシンボルマークとして市民権を得ているブルーリボンと同じ形の色違いのバッジである。 色は北方四島の「土地」の色であるベージュがかかったブラウン（土色）である。「人の拉致」にたいし北方領土問題は「土地の拉致」として、皆さんに主権と尊厳を侵されている2つの大きな国際問題であるとの関心を相乗効果的に持ってもらいたいと思う。 新聞記事、交流事業、メディア事業、ダイレクトメールなどを活用し全国に</p>

種 別	概 要
	<p>配布した。バッジ配布数等は下記の通りであり、初年度として、大変な成果があがったといえる。</p> <p>配布バッジ数 9,624 個（無料分を含む）</p> <p>収入金額 1,540,862 円 （発注バッジ総数 10,500 個、発注金額 1,245,525 円）</p> <p>「ちぎれ千島に雲が飛ぶ」をあわせて配布開始（8月より）</p> <p>森繁建（作詞者である故森繁久彌さんの次男）からの申し出を頂き、北方領土を歌った標記の歌詞と楽譜を配布した。対象はブラウンリボンバッジ申込者</p>
<p>③北海道新幹線早期実現「新幹線バッジ」キャンペーン</p>	<p>この事業は本年8月の交流の夕べから始めた事業である。</p> <p>1. 北海道新幹線早期実現推進の意識を高めるための早期実現「新幹線」バッジを実費で頒布する。</p> <p>2. 趣旨： 北海道新幹線早期実現のためには、それをしっかり後押しする関係者の熱意と実行力が不可欠ですが、新幹線早期実現推進運動の応援団を増やすためには、底辺を拡大してその輪をさらに広げることが必要である。 そのためには、「日常会話に登場する北海道新幹線早期実現推進運動」をする必要がありますが、それを可能にするためには、話題のきっかけとなる「きっかけグッズ」が有効である。その趣旨から、「きっかけグッズ」の頒布活動を事業として推進するものである。</p> <p>3. 早期実現「新幹線」バッジ：(写真：事業報告 資料参照) 絵柄で北海道と新幹線を、文字で北海道と新幹線への想いを表現した。25mmサイズのピンバッジである。色は北海道のイメージ緑と、情熱・熱意を表す赤を配色した。北海道新幹線早期実現のため、話題の「きっかけ」グッズとなれば幸いである。 新聞記事、交流事業、メディア事業、ダイレクトメールなどを活用し全国に配布した。バッジ配布数等は下記の通りであり、北海道のローカル色の強いバッジであるが、初年度として、大変な成果があがったといえる。</p> <p>配布バッジ数 2,927 個（無料分を含む）</p> <p>収入金額 442,908 円 （発注バッジ総数 6,000 個（来年度分 3,000 個を含む）、金額 675,675 円）</p>
<p><b>3. 調査研究事業</b> 特別講演会 8月24日</p>	<p>演題「北方領土問題と北海道」</p> <p>講師 鈴木宗男 新党大地代表、衆議院外務委員長</p> <p>聴衆 約90名（参加者名簿 別添）</p> <p>北方領土返還運動推進ブラウンリボンバッジキャンペーンの一環でもある。外交交渉を含め北方領土問題の内幕を語る。</p> <p>聴衆の評判が良く、またの講演要望を受けた。</p> <p>8月24日13時30分～14時30分 サッポロビール本社講堂で実施</p>
<p><b>4. メディア事業</b> 北海道倶楽部 会報</p>	<p>本年度もメディア事業は、北海道情報の北海道外への広報活動を志向した。</p> <p>会報第633号から第643号まで発行（毎月1日、ただし2月1日号は休刊）</p> <p>会員以外への会報の配布も積極的におこなった。（ふるさと会、同窓会、北海</p>

種 別	概 要
北海道 "NOW" (カラー版)	<p>道情報ラックなど)</p> <p>広報紙「北海道 "NOW"」の発行配布は公益事業として、北海道情報紙への会報の変身も視野に、会員外の読者層を狙った記事を集め、配布対象を広げ配布することを目指すものである。</p> <p>第一回発行 物産展情報、北海道米、スイーツ王国北海道、観光情報などの北海道情報を載せ、ANAのマイレージクラブ会員誌「Bird's」2010年2月号に同梱 12.1万部（関東居住者、51～65歳、男女同梱229万円 カラー印刷代約77万円、合計306万円）</p> <p>第二回発行 北海道情報(キャンペーン等)の発信と北海道フェア in 代々木の告知を行った。 ・11万部印刷し、代々木沿線に新聞(全国紙3紙)の折り込み配布をした。 ・北海道フェア in 代々木会場内でも配布した。 (印刷代24万円、折り込み35万円、会場内配布9万、合計68万円)</p>
北海道情報ラック	<p>北海道の情報を入れた、情報ラックの設置、コンテンツの送付。 24カ所(レストラン、店舗等)設置 北海道関連のパンフレット、北海道倶楽部の会報、北海道情報紙「北海道 "NOW"」などを毎月送付</p>
5. 後援名義の付与	<p>(1) 劇映画『大地の詩 -this one thing I do- 留岡幸助物語』 (2) 第26回太田義久書の個展(当倶楽部正会員) (3) 道産子サッポロビール会 (4) '10 青少年のための科学の祭典北海道大会</p>

# ブラウンリボンバッジを胸に！



北方領土返還には世論の強い後押しが欠かせないが、北海道倶楽部はその世

## 北方領土返還の世論喚起 倶楽部が制作・頒布事業実施

論の一層の喚起のため、返還運動普及の「ぎっかげグッス」としてブラウンリボンバッジ写真の頒布を、公益事業の一環として実施する。

この種のリボンバッジは、北朝鮮による拉致問題のシンボルマークとしてブルーリボンが普及している。ブラウンリボンバッジは、北方4島の土地の色をイメージしたベージュがかったブラウンで、形、大きさはブルーリボンと同じ。ブルーリボンが「人の拉致」、ブラウンリボンが「土地の拉致」を象徴する国際問題のシンボルマークと言え、頒布が広がれば運動の相乗効果が期待される。

北方領土返還運動兵庫県推進会議はすでにブラウンバッジの配布を試験的に実施しており、倶楽部の取り組みを注目している。倶楽部はまず会員に無料で配布するが、会員以外の希望者には制作費、頒布費を含めた原価で配布する。バッジを付けることで、北方領土問題が話題になるきっかけとなり、それが返還運動の広がりにつながる。会員の積極的な関与が望まれる。



「北方領土返還運動推進キャンペーン」の記事が北海道、産経、毎日各新聞に掲載されてから、倶楽部事務局には電話でのブラウンリボンバッジ申し込みが相次いだ。2月17日現在の頒布個数は2495個。このバッジはアスタロト

### ブラウンリボンバッジ

## 申し込み2千個突破

制作した北方領土返還運動兵庫県推進会議の了解を得て倶楽部が制作、普及キャンペーンを開始した。頒布申し込みは全国各地からあり200個、1000個のまとめ買いもあった。また申し込みの際、「いいキャンペーンだ。頑張ってください」などの声も多く寄せられている。

申し込み方法次の通り  
▽1個250円、4個単位での販売  
▽1000円相当の切手(例えば100円×10枚と、120円切手を貼った返信用封筒(返信先を記入)を同封して倶楽部事務局ブラウンバッジ係に郵送  
申込先 〒100-0014 東京都千代田区永田町2丁目17-17 北海道倶楽部ブラウンバッジ係  
▽ ☎03・3581・4021  
は2月上旬1個ずつ無料送付した。

北方領土返還運動推進

# キャンペーンがスタート

広げようブラウンバッジの輪

## 倶楽部新年交礼会開く

北海道倶楽部の新年交礼会が1月22日午後6時から、東京・千代田区のホテルニューオータニで開かれ、この日から「北方領土返還運動推進キャンペーン」がスタートした。

交礼会は西村守正倶楽部理事長が北方領土キャンペーンについて説明した後、高橋はるみ道知事が「北海道倶楽部にはふるさと納税などで大変協力いただいている。今回の北方領土返還運動キャンペーンは素晴らしいことで、北海道としても領土問題解決に向け努力をしたい」と決意を表明した。

運動に取り組んだことを歓迎の意を表した。また松田昌士倶楽部会長

出席者200人が、受付で渡された返還運動のシンボル、ブラウンリボンバッジを胸に着けた、一方倶楽部事務局にもバッジ希望の電話が相次ぎ、キャンペーンは好調なスタートを切った。

続いて間瀬雅晴、北方領土問題対策協合理事長が「北方領土問題の話題のきっかけになるグッズがあればいい」と思っていたところなので、北海道倶楽部がブラウンリボンバッジの普及



俳優の山田吾一さん(左)が元気な姿を見せ、小池明夫副会長(JR北海道会長)と談笑

## 200人がバッジを胸に



高橋知事もブラウンバッジを着けて会場に



挨拶する松田倶楽部会長(JR東日本相談役)

この日俳優の山田吾一さん(深川市出身)も元気な姿を見せ、JR北海道の小池明夫会長(倶楽部副会長)らと近況を語り合っていた。



村上隆男倶楽部副会長(サッポロHD社長)の「乾杯」の音頭に出席者200人が「北海道！」と応え氣勢を上げた

# 増刊号「北海道NOW」発行 首都圏12万人に配布 道内「いいもの」情報満載

既報の通り北海道倶楽部は2月に、北海道の魅力ある情報を集めたオールカラーの臨時増刊号「北海道NOW」を発行しました。

発行部数は13万部。首都圏の51歳から65歳までの全日空マイレージ会員12万1000人と倶楽部会員に無料で配布しました。

会報と同じサイズの4ページで、内容は東京都内で道産品を賣る店の案内のほか、「北海道スイーツ」の紹介、あまり知られていない見所など「いいもの情報」を集めて掲載しました。

この情報は、首都圏の人に北海道の優れた食や観光などをPRすることにより、北海道の活性化に少しでも役立つことができると考えて発行しました。

北海道倶楽部 We Love Hokkaido 北海道"NOW" KITAKARA

魅力ランキングベスト10

順位	自治体	得票数
1	北海道	662
2	札幌市	191
3	旭川市	61
4	釧路市	50
5	帯広市	24
6	旭川市	21
7	釧路市	15
8	旭川市	14
9	旭川市	13
10	旭川市	12

魅力ランキング

順位	自治体	得票数
1	北海道	888
2	東京都	174
3	新潟県	48
4	静岡県	36
5	長野県	32
6	大分県	29
7	宮城県	28
8	富山県	27
9	兵庫県	25
10	千葉県	24

おいしい北海道 買える店

おいしい北海道 買える店

おいしい北海道 買える店

北海道NOW 臨時増刊号

スイーツ王座北海道

首都圏で楽しむ北海道

魅力いっぱい

北海道NOW 臨時増刊号

北海道NOW 臨時増刊号

北海道NOW 臨時増刊号

## 少年厚生先駆者

### 留岡幸助(北海道家庭学校創設)の生涯

### 山田さん映画化「大地の詩」

### 制作資金支援を呼び掛け

現代若くはくしよん(東京)の映画監督山田火砂子(カ)が、網走管内遠軽町の少年厚生施設「北海道家庭学校」を創設した留岡幸助の生涯を映画化する。題名は「大地の詩」留岡幸助。課題は1億円の制作費の捻出。山田さんは「非行少年の厚生に心血を注いだ留岡の功績を伝えるためぜひご協力を」と呼び掛けている。北海道倶楽部も後援する。



山田火砂子さん



遠軽町の北海道家庭学校。道内唯一の私立児童自立支援施設

留岡(1864~1934年)岡山出身は明治期に空知集治監の教戒師に就任したが、教育で一番大事なのは家庭だと痛感、1914年大正3年家庭学校の監督として知られる。

現代社会は貧乏しても親子が真剣に話し合い、家族が寄り添って生きて行くという姿が失われている。今こそ、留岡エッセイを思い起こす必要があるというのが映画化を決めた理由。山田さんは、留岡の存在のために、全国各地で福祉をテーマにした映画の上映会などを開いて協力を呼び掛けている。しかしまだ資金めどはたっていない。問い合わせは、現代若くはくしよん(東京)03-53380987へ。

留岡(1864~1934年)岡山出身は明治期に空知集治監の教戒師に就任したが、教育で一番大事なのは家庭だと痛感、1914年大正3年家庭学校の監督として知られる。

現代社会は貧乏しても親子が真剣に話し合い、家族が寄り添って生きて行くという姿が失われている。今こそ、留岡エッセイを思い起こす必要があるというのが映画化を決めた理由。山田さんは、留岡の存在のために、全国各地で福祉をテーマにした映画の上映会などを開いて協力を呼び掛けている。しかしまだ資金めどはたっていない。問い合わせは、現代若くはくしよん(東京)03-53380987へ。

太田義久氏個展

毎日書道展審査委員太田義久氏の個展が(北海道倶楽部後援)4月13日から18日まで、「ふるさと北海道を書く」をテーマに、札幌市中央区南1西3の大丸藤井セントラル7Fスカイホールで開かれる。

北海道倶楽部通常総会開く

松田会長 財政基盤強化訴える

北方領土返還問題でも提言

北海道倶楽部の平成21年度通常総会が3月8日、東京・恵比寿のサッポロビール本社講堂で開かれ、平成21年度決算、同22年度予算、事業計画などを承認した。事業計画では昨年募集した公益事業提案の中の優秀作品について、テーマを選んで実行に移すことになった。このほか北方領土返還運動推進などを盛り込んでいる。

また総会では会員から「観光客が多く訪れる新千歳空港、函館空港に北方領土を含んだ北海道地図が掲示されていないのはおかしい。北海道倶楽部が関係方面に働きかけて地図を掲示できるようにすべきだ」との発言があり、西村守正倶楽部理事長が検討を約した。これに関連して松田昌士倶楽部会長は「領土問題への関心を高めるためにも、北方領土はどこなところか、返ってくればどうするか、返って来ないのかをPRする必要がある」と提言した。

また同会長は「倶楽部の財政基盤を強化しないと、北海道への貢献もできなくなる」と訴えた。(総会の了承事項は倶楽部のホームページ参照)

**22年度事業計画**

- ◆ 基本方針 公益社団法人の認定を受けるための体制を整える。北海道の情報を道外に発信、北海道発展に寄与する
- ◆ 会員増、ボランティア制度新設を検討する
- ◆ 公益事業提案の中からテーマを絞り、実行に移す
- ◆ 北方領土返還運動を盛り上げるためブラウンリボンバッジの普及に努める
- ◆ ふるさと納税、北海道ちよっと暮らし、新幹線札幌延伸などに積極的に取り組む
- ◆ キャンペーンを目的とした夏の交流事業、交流イベント(旧道産子の会、情報展示などの実施)

ブラウシリボンバッジ 全国各地から申し込み

北海道倶楽部は北海道新幹線札幌延伸の早期実現運動を応援するため、「新幹線バッチ」を写真IIを作りました。道民や北海道出身の本州居住者、北海道関係企業などを中心に実費で配布します。

北海道新幹線は、新函館までは2015年開業が予定されています。しかし札幌までの延長は認可されるかどうかはまだはっきりしませんでした。

マスコミが倶楽部の活動を紹介して以来、バッチの希望者は全国的な広がりを見せている。3月2日には富山市に本社がある北日本新聞が倶楽部のキャンペーンを大きく取り上げたため、富山県在住者からの申し込みが増えた。

これまで北方領土関係団体では兵庫、長野、京都、富山、名古屋、鳥取、広島、愛媛、秋田各府県から申し込みがあった。

ユニークなケースを紹介すると、神戸市の機械関係の会社ニッコーの有働英司社長は、昨年知床方面に社員旅行した際、国後島に向かって「社員全員で「領土返せ!」と3回叫んだというほど、領土問題に強い関心を持っていた。

その後倶楽部の活動を知り、100個のバッチを申し込み込んだ。取引先や知人に配ったという。

また50個を申し込んだ三重県津市の主婦松谷祐子さんは、主婦仲間と3人で、北方領土や拉致問題に関心を持ってもらった街頭演説を引っこま行動派主婦。松谷さんは「この問題は日常生活の中でつい忘れがち。多くの人に問題意識を持ってもらうためブラウンバッチを配布した」と語っている。

会社、団体から申し込みがあった中で最高は300個だった。

新幹線バッチを付けて「札幌延伸」の早期実現を

「札幌延伸」の早期実現を

北海道倶楽部

北海道倶楽部は北海道新幹線札幌延伸の早期実現運動を応援するため、「新幹線バッチ」を写真IIを作りました。道民や北海道出身の本州居住者、北海道関係企業などを中心に実費で配布します。

北海道新幹線は、新函館までは2015年開業が予定されています。しかし札幌までの延長は認可されるかどうかはまだはっきりしませんでした。

が、その対策として高規格幹線道路や札幌までの新幹線建設などによる高速交通ネットワークの整備で、大自然をイメージした緑色の北海道を中央に、赤色で熱意を表す新幹線車両には「札幌」を認をデザインしています。

新幹線札幌延伸実現のため、このバッチの普及に協力くださるようお願いいたします。なおお申し込みの際には「新幹線バッチ希望」と明記してください。



# 「ちぎれ千島に雲が飛ぶ」 4島への思い切々と

## 森繁久彌さん作詞の歌

### 北方領土返還運動にひと役

知床が世界自然遺産に登録されて5年の今年、「知床旅情」も誕生50周年を迎えた。作詩・作曲した森繁久彌さんは昨年亡くなったが、森繁さんが北方4島への思いを切々と歌った「ちぎれ千島に雲が飛ぶ」という歌があることはあまり知られていない。北方領土返還運動推進キャンペーンを実施している北海道倶楽部の活動を知った森繁さんの次男建、作曲した岩代浩一の両氏は、「返還運動の機運盛り上げに役立ちたい」と北海道倶楽部に歌詞と楽譜の無償提供を申し出た。倶楽部は「キャンペーンにはすみがたく」と歓迎している。

### 次男建さん「父の願いを皆さんと共有したい」

北方領土返還を強く願っていた森繁久彌さんは「知床旅情」誕生5年後の昭和40年、「ちぎれ千島に雲が飛ぶ」を作詩した。作曲は親交があった岩代浩一さん。昭和52年にはNHKのビッグショーで森繁さんが歌った。国後、択捉、歯舞、色丹



森繁 久彌さん



森繁 建さん



岩代浩一さん

「一片の雲」という著書の奥からふりしぼるような悲

森繁久彌さんの次男建

さん(67)は、たまたま7月1日付け産経新聞で北海道倶楽部の北方領土キャンペーンを知り、父久彌さんが作った「ちぎれ千島に雲が飛ぶ」を、キャンペーンに参加させてほしいと倶楽部にメールを送った。クラウドファンディング購入者へのこの歌の歌詞と楽譜を送ってキャンペーン盛り上げにひと役買いたいという提案だ。作曲した岩代さんにもこれに賛同、すぐに楽譜が倶楽部に送られてきて

建さんは「やむにやまれぬ気持ちで歌を作った父の思いを、(バッジを買った)皆様と共有できれば、どれほど父がうれしく思うことか」と語っている。

森繁久彌さんやその関係者の強い思いが、今後の北方領土返還キャンペーンに大きなはずみをつけるものと期待される。

「ちぎれ千島に雲が飛ぶ」  
歌詞の1節

ちぎれ 千島に 雲が飛ぶ  
ちぎれ 千島に 雲が飛ぶ  
クナシリよ 故郷よ  
父母の白い墓標よ  
心安らかに 眠れましょう

か  
コマクサの紅い花は 咲いて  
ましようか  
せめて この一輪  
海島よ くわえて 飛ん  
でゆけ

北方領土返還運動と「ちぎれ千島に雲が飛ぶ」について  
社団法人北海道倶楽部  
副会長 岩代浩一

「ちぎれ千島に雲が飛ぶ」は、森繁久彌さんの代表作の一つである。この歌は、森繁さんが北方領土返還運動を推進するために作られた。この歌は、森繁さんが北方領土返還運動を推進するために作られた。この歌は、森繁さんが北方領土返還運動を推進するために作られた。

森繁 久彌さん  
森繁 建さん  
岩代 浩一さん

ちぎれ千島に雲が飛ぶ  
作曲 森繁久彌 作詞 岩代浩一

# 北海道倶楽部交流の夕べ開く

## 全員が新幹線バッジを胸に 札幌延伸キャンペーンスタート

ビヤホールの日の8月4日は、父の4島への熱い思いを実現するためにも北海道倶楽部交流の夕べが東京・銀座の銀座スタディホールで開かれた。連日猛暑が続く中、140人が「新幹線バッジ」を付けて出席した。新幹線札幌延伸の早期実現運動を応援する倶楽部のキャンペーンがこの日からスタートした。また来賓として出席した森繁久弥さんの次男建三さん。



松田会長と談笑する森繁建三さん(中央)

この日は日本に初めてサヤホールの日。浅草サンツポロビールのビヤホールバカーニバルのダンサーが銀座に出来た記念の「ビヤ行」が、会場狭しと踊りながら練り歩

りを見た。このあと会場では雪印乳業、サツポロビール、札幌通運、オエノンホールディングスなど会員企業から提供された景品の抽選会が行われ、「喜憂

## 「領土返還は段階的に」

### 衆院外務委員長 鈴木宗男氏が講演



講演する鈴木宗男氏

北海道倶楽部主催の特別委員長の鈴木宗男氏(新党)講演会が8月24日、東京・大地代表が、「北方領土恵比寿のサッポロビール本問題と北海道」と題して講社講堂で開かれ、衆院外務演じた。鈴木氏は「領土返

還交渉は、段階的に進めるのが現実的だ」と述べ、あらためてロシアとの交渉には、柔軟な態度で臨む必要性を強調した。

講演会には倶楽部会員ら約100人が出席。鈴木氏は「北方4島は歴史的に見ても間違なく日本固有の領土」とし、歴代内閣の領土問題への取り組みなどを紹介した。その上で同氏は今後の領土交渉は「1956年の『平和条約締結後、歯舞色丹の2島を返還する」と

うたった日ソ共同宣言②細川政権下での東京宣言③森政権下でのイルクーツク宣言」を基礎にする以外道はない」と強調した。

2島返還後のクナシリエトロフについては、「共同管理も視野に入れてよい」と述べた。

また、菅直人首相の領土問題への取り組みについては、「菅さんは相手の琴線に触れるようなことは何も言っていない。原理主義的なことを言うだけでは、進

りしており、菅政権には全く期待していない」と厳しく批判した。

これに関連して「ロシアは鳩山由紀夫前首相に期待していた。菅首相は今後の対口外交は前首相に任せべきだ」とも述べた。

# 第29回北方領土ノサップ岬マラソン

## 倶楽部が「北方4島賞」

### 小池副会長が9人に手渡す



マラソン参加者に「北海道倶楽部賞」を渡す小池倶楽部副会長

根室半島を駆け抜ける岬マラソン」が8月22日行われ、約750人という過渡された。去最多のランナーが、北方領土への思いを胸にゴールを目指した。今大会では北海道倶楽部が「北海道倶楽部賞」として記念品を提供することになり、抽選の結果、9人のランナーに小池明夫副会長(JR北海道会長)から「北海道賞」を渡すことになった。ゴールの根室市役所では名物花咲方二の鉄砲汁のサービスもあり、参加者は健闘をたたえあった。

# 北方領土ノサップ岬マラソン大会 「北海道倶楽部賞」贈呈 道民の公益事業提案を具体化

「ブラウンリボンバッジ」の配布など、北方領土返還運動推進キャンペーンを実施している北海道倶楽部は、8月22日に行われる第29回「北方領土ノサップ岬マラソン大会」(北方領土復興期成同盟、大会実行委員会主催)に協賛、北海道倶楽部賞を贈ることになった。

表彰式会場にブースを設け、参加者にブラウンリボンバッジを配布するほか、倶楽部の活動を紹介する資料も置く。大会への協賛は、倶楽部が昨年道民から募集した公益事業提案の具体化のひとつ。

# 北海道フェア、大盛況

## 倶楽部、代々木公園に「初出店」 じゃがいも、ハムなど完売

北海道の秋の味覚を首都圏の人たちに格安で提供する、「第22回北海道フェア in 代々木」が10月1日から3日まで東京・代々木公園で開かれた。北海道倶楽部は知床ジャガイモなどを用意して初めて「出展」、来場者の列ができるなどの人気ぶりだった。主催者側によると、3日間とも天候に恵まれたことから、期間中の入出は約37万人に上った。

北海道ふるさと会連合会や道内企業などで行う実行委の主催。22回目を迎えた今年は、道内の市町村や食品業者など80団体が参加した。各ブースを回り激励した。会場には採れたての野菜や海産物、札幌ラーメン、ジンギスカン、アイスクリームなど北海道の味覚がいろいろ。イベントコーナーでは、「道産子」の乗馬体験も。

初日から大勢の市民が詰めかけ、有名ラーメン店やカニ専門店などのブースには長い列ができた。北海道倶楽部はパネルを展示して、ふるさと納税、北方領土返還、北海道新幹線の札幌延伸などをアピールする一方、知床産のジャガイモ、昨年洞爺湖で開かれたG8サミットの際、各国首脳も味わったハム

1日行われた開会式には高橋はるみ知事も顔をみせ、「北海道の現実を厳しさが、おいしいものは全国一。3日間で首都圏のみならずにアピールしてほしい」とあいさつ。この後



ジャガイモを求め列を作る都民ら



倶楽部ブースを激励する高橋知事

ソテーシなどを安値で提供した。都内の主婦は「本当に安い。うそみたい」と話し、ジャガイモは3日午前で完売した。

### 会報増刊号発行 カラー印刷で10万部

北海道倶楽部は9月30日、「北海道NOW」の増刊号第2号を、カラー印刷で10万部発行し、東京都内には配布しました。内容は10月1日から3日まで開催の「北海道フェア in 代々木」の目録、朝日、毎日、読売、アールPRと、北海道の秋の各紙の10月1日付け朝刊折見どころ、新鮮な道産魚介の産地、配り先は「北海道フェア」開催所の渋谷区代々木公園に近い渋谷、世田谷、港区内に配布しました。

2019年10月27日 10月1日 北海道フェア 代々木公園 代々木公園 代々木公園 代々木公園

## We Love Hokkaido 北海道 "NOW" KITAKARA

北海道倶楽部が初参加!!  
今年の北海道フェアは、北海道倶楽部のブースに注目

### 北海道フェア in 代々木

日時：10/1(金)2(土)3(日) 10時～17時  
場所：代々木公園 社民北海道倶楽部ブース

北海道倶楽部ふるさと納税ギフトの逸品  
JA 平野町 トマトジュース  
エゾ産ポニーと 食べるラー油3個セット 1kg ¥198 税込  
世界遺産知床からの逸品  
JA 利根町 知床じゃが 品種色々  
にはびくジュース

北海道産の味覚を格安で提供する「第22回北海道フェア in 代々木」が10月1日から3日まで東京・代々木公園で開かれた。北海道倶楽部は知床ジャガイモなどを用意して初めて「出展」、来場者の列ができるなどの人気ぶりだった。主催者側によると、3日間とも天候に恵まれたことから、期間中の入出は約37万人に上った。

## 秋の北海道を楽しもう!!

### 北海道ガーデン街道

人気上昇中! 7つの庭園めぐり  
心癒される花と緑の空間

### JR北海道のイベント列車「10月」

SIニセコ号で紅葉狩り

### 北海道産の味覚を格安で提供する「第22回北海道フェア in 代々木」

北海道産の味覚を格安で提供する「第22回北海道フェア in 代々木」が10月1日から3日まで東京・代々木公園で開かれた。北海道倶楽部は知床ジャガイモなどを用意して初めて「出展」、来場者の列ができるなどの人気ぶりだった。主催者側によると、3日間とも天候に恵まれたことから、期間中の入出は約37万人に上った。

# 秋の交流イベント開く

## 会長、鈴木氏を電話で祝福



電話で鈴木氏を祝福する松田会長

北海道倶楽部が取り組む北方領土返還、北海道新幹線の札幌延伸などをアピールする、第47回交流イベント(旧道産子会)が10月27日夜、東京・元赤坂の明治記念館で開かれた。北大・鈴木章名誉教授のノーベル化学賞を祝福するため、松田昌士会長が鈴木氏に電話し、その快拳をたたえた。交流イベントには、倶楽

部会員を中心に約500人が参加。関係者のあいさつに続き、故・森繁久彌さんが北方4島への思い込めて作詞、自らも歌った「ちぎれ千島に雲が飛ぶ」を、歌手の葵ひろ子さんが熱唱した。

この後、松田会長が会場から直接、ノーベル化学賞に加え、本年度の文化勲章受賞も決まった鈴木氏の自宅に電話。「先生のこつこつ、もくもくの自然体の姿勢に胸を打たれました」とたたえ、故・森繁久彌さんが北海道倶楽部の名誉会員に「と要望した。これに対して、鈴木氏が「今回のノーベル賞は偶然であって、すべてみなさんのおかげ。(名誉会員については)光榮ですが、恥ずかしくって」などと答える

と、会場から大きな拍手がわいた。懇親会では飲食をともにしながら、旧交を温める輪があちこちに。豪華賞品が当たる抽選会で、会場の盛り上がりはピークになった。



ノーベル賞が決まり、喜びを語る鈴木・北大名誉教授  
(北海道新聞社提供)

# ブラウンリボンバッジ関連新聞記事

23 社会 15版 平成22年(2010年)8月4日 水曜日 産経新聞 朝刊

◇…在京の北海道関連企業や出身者らでつくる社団法人「北海道倶楽部」の北方領土問題解決キャンペーンで、俳優の故森繁久彌さん一写真一が作詞した歌の歌詞などが4日から、倶楽部が販売するバッジとともに配布される。



◇…北海道倶楽部は民間の立場から北方領土問題の啓発活動を展開。この活動を知った森繁さんの次男、建(たつる)さんが、北方四島への思いを歌った森繁さんの「ちぎれ千島に雲が飛ぶ」の歌詞と楽譜の

提供を提案した。◇…北方領土問題の行方を憂えている森繁さん。北方四島の色などをモチーフにした「ブラウンリボンバッジ」はすでに6000個以上が出荷されている。購入などの問い合わせは同倶楽部事務局 ☎03・3581・4021。

平成22年)8月4日(水曜日) 16版 総合 2

産経新聞朝刊 2010年8月4日

## 北海道発

ホーム	社会	スポーツ	マネー・経済	政治	国際
北海道発トップ	企画・連載	道内天気予報	イベント情報	取材網	読売グループ

ホーム > 北海道発

### 森繁さんが歌う4島「返還応援歌に」

復刻CDを計画

北海道出身の経済人などで構成する社団法人「北海道倶楽部」(東京)は、森繁久彌さんが作詞した「ちぎれ千島に雲が飛ぶ」を北方領土返還運動推進キャンペーンの一环としてCD化する計画を進めている。



写真の拡大

「ちぎれ千島」は、知床旅情を作詞作曲した森繁さんが、元島民が多く住む知床の人々への思いを込めて1977年に発表。「クナシリよ 故郷よ 父母の白い墓標」と4島返還を願う歌詞になっている。

森繁久彌さんが北方領土への思いを込めて作詞した「ちぎれ千島に雲が飛ぶ」のレコードジャケット(羅白町の志賀謙治さん所蔵)

倶楽部は今年から、「ブラウンリボンバッジ」を製作して返還運動の普及活動を始めており、これを知った森繁久彌さんの次男の建(たつる)さん(67)が「知床旅情誕生50周年の佳節の年。役立ててほしい」と倶楽部に「ちぎれ千島」の活用を提案。作曲した岩代浩一さんも楽譜を提供した。建さんは「歌を作った父の思いを、(バッジを買った)皆様と共有できれば、どれほど父がうれしく思うことか」と話している。

(2010年8月5日 読売新聞)

YOMIURI ONLINE

新聞 2010年(平成22年)8月5日(木曜日)

### 森繁久彌さん歌う北方領土の歌披露 北海道倶楽部 首都圏在住の道内出身経済人らでつくる北海道倶楽部(東京)は4日夜、東京・銀座で「交流の夕べ」を開いた。会場では、昨年亡くなった俳優の森繁久彌さんが北方四島への思いを込めて作詞した「ちぎれ千島に雲が飛ぶ」の本人の歌声が流れ、約130人の出席者は領土返還への思いを新たにしていた。



領土返還運動に取り組む同倶楽部のキャンペーンソング。倶楽部の活動に共感した森繁さんの次男建さん(67)が「ちぎれ千島」が楽曲を無償提供した。倶楽部メンバーでもある近藤龍夫道経連会長(北電会長)ら札幌の経済人も参加。独特の渋い温かみのある森繁さんの歌声に聴き入った。建さんは「父の歌が一日も早い四島返還につながる」と話し、北方領土問題対策協会(東京)の間瀬雅晴理事長は「元島民の切実な思いを代弁した素晴らしい歌だ」と感激していた。



故森繁久彌さん

## 森繁さん幻の曲 四島返還応援歌に

北海道倶楽部

昨年亡くなった俳優の森繁久彌さんが北方四島への追慕の念を込めて作詞し、歌った幻の名曲「ちぎれ千島に雲が飛ぶ」を、首都圏の道内出身経済人らでつくる北海道倶楽部(東京)が、領土返還運動のキャンペーンソングとして活用する。森繁さんの四島の思いを運動に役立ててほしいと、遺族が楽曲の無償提供を申し出た。同倶楽部は「返還運動を盛り上げる弾みになる」と歓迎し、CD化の交渉を進めている。元島民の望郷の思いを通して誕生した「知床

### 遺族が無償提供

旅情」が多くの人に親しまれているのは対して多くの人に領土問題への関心を持つてほしい」と話す。作曲の組などでの披露は少なく、収録したレコードも廃盤となっている。森繁さんの次男で、歌詞の著作権を持つ建さん(67)が、領土返還を願うキャンペーンソング制作などを続けてきた同倶楽部の活動を知り、今年7月に楽曲の提供を打診。キャンペーンソング化の話が身近に感じてもらえる」と話し、森繁さんが歌った音源を持つレコード会社にCD化を働きかけている。

北海道新聞朝刊 2010年8月4日

北海道新聞朝刊 2010年8月5日

# 平成22年度 会員異動状況

(平成22年12月31日)

		平成 21 年度末	内 容			平成 22 年度末
			増	減	差引	
単位						
維 持 会 員	社 数 (社)	156	6	7	△ 1	155
	口 数 (口)	260	15	12	3	263
	登録会員数 (名)	343	55	61	△ 6	337
正 会 員 数 (名)		270	27	21	6	276
個人会員数合計 (名)		613	82	82	0	613

# 正味財産増減計算書

(平成22年12月31日)

	当年度	前年度	増減	
基本財産収入	400	700	△ 300	
入会金	115,000	115,000	0	
正会員会費収入	3,540,000	3,795,000	△ 255,000	
維持会員会費収入	7,680,000	7,635,000	45,000	
広告収入	1,101,000	3,975,000	△ 2,874,000	
交流、キャンペーン等収入	10,405,106	6,965,000	3,440,106	ブラウンリボンバッジ、新幹線バッジの売上増
受取利息	33,027	78,127	△ 45,100	
雑収入	165,772	128,365	37,407	
経常収益計	23,040,305	22,692,192	348,113	
給料手当	4,455,640	6,510,160	△ 2,054,520	事務局人数減
諸謝金・雑給	777,000	500,000	277,000	代々木北海道フェアマネキン等費用
法定福利費	512,850	613,815	△ 100,965	
福利厚生費	25,500	83,356	△ 57,856	
退職給付繰入額	85,500	117,000	△ 31,500	
外注費	8,639,771	10,682,439	△ 2,042,668	会報業務委託費の減
荷造運賃	271,470	320,550	△ 49,080	
広告宣伝費	3,486,300	1,299,000	2,187,300	北海道NOW配布コストの増
会議費	322,885	382,972	△ 60,087	
旅費交通費	124,630	93,955	30,675	
通信費	1,523,475	1,467,436	56,039	
販売品仕入代、手数料	2,369,580	0	2,369,580	北海道フェアの品物代、ブラウンリボンバッジ、新幹線バッジの制作費の増
会合費	6,437,069	6,972,981	△ 535,912	
消耗品費	806,896	362,041	444,855	IT機器とメンテナンス品の増
事務用品費	36,049	42,278	△ 6,229	
新聞図書費	102,840	115,765	△ 12,925	
諸会費	25,000	20,000	5,000	
賃借料	737,818	1,017,807	△ 279,989	
リース料	144,900	144,900	0	
租税公課	80,000	72,000	8,000	
雑費	508,740	257,911	250,829	ふるさと納税ギフト増
経常費用計	31,473,913	31,076,366	397,547	
当期経常増減額	△ 8,433,608	△ 8,384,174	△ 49,434	
公益事業引当金収入*	16,870,354	8,384,174	8,486,180	公益事業引当金の一部を建て替え費用引当金に組み替え、残額をすべて収益計上(公益事業引当金収入*)した。なお、発生した正味財産額を公益事業積立金とする。
当期正味財産増減額	8,436,746	0	8,436,746	
正味財産期首残高	0	0	0	
正味財産期末残高 (公益事業積立金)	8,436,746	0	8,436,746	

# 正味財産増減計算書(事業別区分経理の内訳書)

(平成22年12月31日)

	交流事業 (合計)	キャンペー ン (合計)	調査研究 事業	メディア事業	事業(共通)	事業(合計)	事業所(共 通)	事業所(合計)
基本財産収入	0	0	0	0	0	0	400	400
入会金	0	0	0	0	0	0	115,000	115,000
正会員会費収入	0	0	0	0	0	0	3,540,000	3,540,000
維持会員会費収入	0	0	0	0	0	0	7,680,000	7,680,000
広告収入	0	0	0	1,101,000	0	1,101,000	0	1,101,000
交流、キャンペーン等収入	8,084,016	2,321,090	0	0	0	10,405,106	0	10,405,106
受取利息	0	0	0	0	0	0	33,027	33,027
雑収入	0	0	0	2,990	0	2,990	162,782	165,772
経常収益計	8,084,016	2,321,090	0	1,103,990	0	11,509,096	11,531,209	23,040,305
給料手当	0	0	0	0	2,227,820	2,227,820		2,227,820
諸謝金・雑給	357,000	370,000	50,000	0	0	777,000		777,000
法定福利費	0	0	0	0	0	0		0
福利厚生費	0	0	0	0	0	0		0
退職給付繰入額	0	0	0	0	0	0		0
外注費	18,900	70,000	0	3,791,090	2,353,115	6,233,105		6,233,105
荷造運賃	207,100	3,460	0	11,070	45,940	267,570		267,570
広告宣伝費	1,048,190	65,250	0	2,286,900	0	3,400,340		3,400,340
会議費	0	0	0	12,600	0	12,600		12,600
旅費交通費	32,720	0	3,290	79,840	270	116,120		116,120
通信費	243,650	193,790	0	509,800	28,840	976,080		976,080
販売品仕入代、手数料	775,680	1,593,900	0	0	0	2,369,580		2,369,580
会合費	6,437,069	0	0	0	0	6,437,069		6,437,069
消耗品費	102,325	0	0	20,110	11,960	134,395		134,395
事務用品費	945	0	0	10,752	0	11,697		11,697
新聞図書費	0	0	0	102,840	0	102,840		102,840
諸会費	0	0	0	0	0	0		0
賃借料	0	0	0	0	368,909	368,909		368,909
リース料	0	0	0	0	72,450	72,450		72,450
租税公課	0	0	0	0	0	0		0
雑費	77,047	77,610	3,255	25,580	0	183,492		183,492
給料手当							2,227,820	2,227,820
諸謝金・雑給							0	0
法定福利費							512,850	512,850
福利厚生費							25,500	25,500
退職給付繰入額							85,500	85,500
外注費							2,406,666	2,406,666
荷造運賃							3,900	3,900
広告宣伝費							85,960	85,960
会議費							310,285	310,285
旅費交通費							8,510	8,510
通信費							547,395	547,395
販売品仕入代、手数料							0	0
会合費							0	0
消耗品費							672,501	672,501
事務用品費							24,352	24,352
新聞図書費							0	0
諸会費							25,000	25,000
賃借料							368,909	368,909
リース料							72,450	72,450
租税公課							80,000	80,000
雑費							325,248	325,248
経常費用計	9,300,626	2,374,010	56,545	6,850,582	5,109,304	23,691,067	7,782,846	31,473,913
当期経常増減額	△ 1,216,610	△ 52,920	△ 56,545	△ 5,746,592	△ 5,109,304	△ 12,181,971	3,748,363	△ 8,433,608
公益事業引当金収入*	0	0	0	0	0	0	16,870,354	16,870,354
当期正味財産増減額	△ 1,216,610	△ 52,920	△ 56,545	△ 5,746,592	△ 5,109,304	△ 12,181,971	20,618,717	8,436,746
正味財産期首残高								0
正味財産期末残高 (公益事業積立金)								8,436,746

# キャッシュフロー計算書

(間接法)

平成22年1月1日～平成22年12月31日

加算減算項目	計算項目	同左 加算減算
当期純損益金額(当期正味財産増減額)	8,436,746	8,436,746
公益事業引当金(増減)	23,440,354	△ 23,440,354
退職給付繰入額(増減)	184,000	△ 184,000
貯蔵品(増減)	88,380	△ 88,380
仮払金(増減)	350,005	△ 350,005
仮受金(増減)	157,500	157,500
建て替え費用引当金(増減)	6,370,000	6,370,000
	キャッシュフロー	△ 9,098,493

科目	当年度	前年度
現金・預金	14,740,561	23,639,054

増減
△ 8,898,493

# 貸借対照表

(平成22年12月31日)

科 目	当年度	前年度	増減	
<b>I 資産の部</b>				
<b>1. 流動資産</b>				
現金・預金	14,740,561	23,639,054	△ 8,898,493	
貯蔵品	88,380		88,380	ブラウンリボンバッジ現金化待ち切手
仮払金	500,005	150,000	350,005	新年交礼会用はがき,H23用新幹線 バッジ
<b>流動資産合計</b>	<b>15,328,946</b>	<b>23,789,054</b>	<b>△ 8,460,108</b>	
<b>2. 固定資産</b>				
<b>(1) 基本財産</b>				
定期預金	200,000	200,000	0	
<b>基本財産合計</b>	<b>200,000</b>	<b>200,000</b>	<b>0</b>	
<b>(2) その他固定資産</b>				
什器備品	3,000	3,000	0	
電話加入権	180,000	180,000	0	
<b>その他固定資産合計</b>	<b>183,000</b>	<b>183,000</b>	<b>0</b>	
<b>固定資産合計</b>	<b>383,000</b>	<b>383,000</b>	<b>0</b>	
<b>資産合計</b>	<b>15,711,946</b>	<b>24,172,054</b>	<b>△ 8,460,108</b>	
<b>II 負債の部</b>				
<b>1. 流動負債</b>				
仮受金	419,200	261,700	157,500	源泉所得税、先払い会費
<b>流動負債合計</b>	<b>419,200</b>	<b>261,700</b>	<b>157,500</b>	
<b>2. 固定負債</b>				
退職給与引当金	286,000	470,000	△ 184,000	
建て替え費用引当金	6,370,000		6,370,000	北海道東京事務所建て替えに伴う、 仮事務所移転に要する建て替え費用 引当金を新設する。
公益事業引当金	0	23,440,354	△ 23,440,354	公益事業引当金を取り崩す。
<b>固定負債合計</b>	<b>6,656,000</b>	<b>23,910,354</b>	<b>△ 17,254,354</b>	
<b>負債合計</b>	<b>7,075,200</b>	<b>24,172,054</b>	<b>△ 17,096,854</b>	
<b>III 正味財産の部</b>				
基本財産(基金)	200,000	0	200,000	科目として分離
正味財産期首残高	0	0	0	
公益事業積立金	8,436,746	0	8,436,746	公益事業引当金は廃し、公益事業積 立金(正味財産)を設ける。
<b>正味財産合計</b>	<b>8,636,746</b>	<b>0</b>	<b>8,636,746</b>	
<b>負債および正味財産合計</b>	<b>15,711,946</b>	<b>24,172,054</b>	<b>△ 8,460,108</b>	

# 財 産 目 録

(平成22年12月31日現在)

科 目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
<b>1. 流動資産</b>			
現金・預金			
現金手元有高	0	0	0
普通預金 みずほ銀行(1)	293,102	534,406	△ 241,304
普通預金 みずほ銀行(2)	7,000		7,000
普通預金 北洋銀行	158,792	492,736	△ 333,944
普通預金 北海道銀行	2,144,689	2,114,264	30,425
定期預金 北洋銀行	2,000,000	10,000,000	△ 8,000,000
定期預金 北海道銀行	10,000,000	10,000,000	0
郵便振替預金	136,978	497,648	△ 360,670
貯蔵品	88,380	0	88,380
仮払金	500,005	150,000	350,005
<b>流動資産合計</b>	<b>15,328,946</b>	<b>23,789,054</b>	<b>△ 8,460,108</b>
<b>2. 固定資産</b>			
(1) 基本財産			
定期預金	200,000	200,000	0
基本財産合計	200,000	200,000	0
(2) その他固定資産			
什器備品	3,000	3,000	0
電話加入権	180,000	180,000	0
その他固定資産合計	183,000	183,000	0
<b>固定資産合計</b>	<b>383,000</b>	<b>383,000</b>	<b>0</b>
<b>資産合計</b>	<b>15,711,946</b>	<b>24,172,054</b>	<b>△ 8,460,108</b>
<b>II 負債の部</b>			
<b>1. 流動負債</b>			
仮受金 重複振込預り金	0	10,000	△ 10,000
仮受金 年会費	120,000	30,000	90,000
仮受金 所得税	290,200	214,200	76,000
仮受金 雇用保険	9,000	7,500	1,500
<b>流動負債合計</b>	<b>419,200</b>	<b>261,700</b>	<b>157,500</b>
<b>2. 固定負債</b>			
退職給与引当金	286,000	470,000	△ 184,000
立て替え費用引当金	6,370,000		6,370,000
公益事業引当金	0	23,440,354	△ 23,440,354
<b>固定負債合計</b>	<b>6,656,000</b>	<b>23,910,354</b>	<b>△ 17,254,354</b>
<b>負債合計</b>	<b>7,075,200</b>	<b>24,172,054</b>	<b>△ 17,096,854</b>
<b>III 正味財産の部</b>			
基本財産(基金)	200,000	0	200,000
正味財産期首残高	0	0	0
公益事業積立金	8,436,746	0	8,436,746
<b>正味財産合計</b>	<b>8,636,746</b>	<b>0</b>	<b>8,636,746</b>
<b>負債および正味財産合計</b>	<b>15,711,946</b>	<b>24,172,054</b>	<b>△ 8,460,108</b>

ブラウンリボンバッジ現金化待ち切手  
新年交礼会用はがき,H23用新幹線バッジ

先払い会費  
源泉所得税

科目として分離

# 収支計算書

(平成22年12月31日)

	予算	決算	増減
基本財産収入	700	400	300
入会金	115,000	115,000	0
正会員会費収入	3,795,000	3,540,000	255,000
維持会員会費収入	7,635,000	7,680,000	△ 45,000
広告収入	2,130,000	1,101,000	1,029,000
交流、キャンペーン等収入	6,965,000	10,405,106	△ 3,440,106
受取利息	78,127	33,027	45,100
雑収入(含 仮受金未収入金増減)	128,365	165,772	△ 37,407
経常収益計	20,847,192	23,040,305	△ 2,193,113
給料手当	4,000,000	4,455,640	△ 455,640
諸謝金・雑給	500,000	777,000	△ 277,000
法定福利費	613,815	512,850	100,965
福利厚生費	83,356	25,500	57,856
退職給付	85,500	269,500	△ 184,000
外注費	10,994,925	8,639,771	2,355,154
荷造運賃	320,550	271,470	49,080
広告宣伝費	1,299,000	3,486,300	△ 2,187,300
会議費	382,972	322,885	60,087
旅費交通費	93,955	124,630	△ 30,675
通信費	1,467,436	1,523,475	△ 56,039
販売品仕入代、手数料	0	2,369,580	△ 2,369,580
会合費	6,972,981	6,437,069	535,912
消耗品費	362,041	806,896	△ 444,855
事務用品費	42,278	36,049	6,229
新聞図書費	115,765	102,840	12,925
諸会費	20,000	25,000	△ 5,000
賃借料	1,017,807	737,818	279,989
リース料	144,900	144,900	0
租税公課	72,000	80,000	△ 8,000
雑費(含 仮払金増減)	257,911	508,740	△ 250,829
経常費用計	28,847,192	31,657,913	△ 2,810,721
当期収支差額	△ 8,000,000	△ 8,617,608	617,608
期首繰越収支差額	23,527,354	23,527,354	0
当期収支差額	△ 8,000,000	△ 8,617,608	617,608
次期繰越収支差額	15,527,354	14,909,746	617,608

予算過大計上  
ブラウンリボンバッジ、新幹線バッジの売上増

代々木北海道フェアマネキン等費用増

会報業務委託費の減

北海道NOW配布コストの増

北海道フェアの品物代、ブラウンリボンバッジ、新幹線バッジの制作費の増

IT機器とメンテナンス品の増

## 計算書類に対する注記

### 1 重要な会計方針ほか

- (1) 新しい公益法人会計基準にあわせ、管理費と公益事業費を事業部門ごとに区分し正味財産増減計算書(内訳書)を作成した。前年と対比のため同様な項目はまとめた。
- (2) 固定資産の償却は定額法による。
- (3) 退職給付繰入額(退職給与引当金)は期末要支給額の100%を計上している。
- (4) 資金の範囲は原則流動資産と流動負債とする。なお、前期末および当期末残高は、下記3.に記載するとおりである。
- (5) 下記項目は事業費と管理費に各1/2配賦した。

科目	各1/2配賦額
給料手当	2,227,820
外注費(業務委託外注)	603,400
外注費(派遣外注)	1,749,715
賃借料(行政財産使用料(北海道東京事務所))	366,284
賃借料(北海道支部使用賃借料)	2,625
リース料(電話機器)	72,450

### (6) 建て替え費用引当金の見積

仮事務所移転期間の費用のみ引当

20.17 坪(現事務所面積 66.67㎡)

#### 1.仮事務所移転期間

工事期間24ヶ月とし、前後1月を加算し、下記とする。

26 月

#### 2.仮事務所賃料等

仮事務所賃料見積は北海道東京事務所に係る移転先賃料について(財)不動産研究所の不動産鑑定士が提示した賃料(共益費込の賃料範囲11,000~12,000円)を用いる。なお、健全な財務体質確保のため安全側の12,000円/坪を採用する。

12,000 円/坪X 20.17 坪X 26 月= **6,292,315 円**

#### 3.移転運搬費、往復費用を見込む。

札幌通運株式会社の「事務所移転お見積書(往復費用)」による  
一式

**872,000 円**

#### 4.差し引くべき、現事務所の費用(年度予算計上分)

732,568 X26/24月=

**△ 793,615 円**

**差引引当金総額 6,370,699 円**  
**同上端数調整後 6,370,000 円**

### 2 基本財産の増減および残高

科目	前期末残高	期中増減	当期末残高
定期預金	200,000	0	200,000
基本財産合計	200,000	0	200,000

### 3 流動資産・流動負債と収支差額

科目	前期末残高	期中増減	当期末残高
現金・預金	23,639,054	△ 8,898,493	14,740,561
その他流動資産	150,000	438,385	588,385
流動資産合計	23,789,054	△ 8,460,108	15,328,946
その他流動負債	261,700	157,500	419,200
流動負債合計	261,700	157,500	419,200
収支差額	23,527,354	△ 8,617,608	14,909,746

平成 22 年度事業、会計報告につき、以上のとおり報告致します。

平成 23 年 3 月 8 日

社団法人 北海道倶楽部

理事長 西村 守正

### 監査報告書

平成 22 年度の会計報告につき、諸  
帳票、帳簿を詳細に調査いたしました  
ところ適法かつ適正であることを認め  
ます。

平成 22 年 2 月 10 日

社団法人 北海道倶楽部

監事 森田 松太郎  
(自署)

監事 西澤 正敬  
(自署)

監事 日置 典宏  
(自署)

# 平成23年度事業計画

平成23年1月1日から平成23年12月31日まで

種 別	概 要
平成23年度事業計画 1. 基本方針  1. 基本方針  2. 中心の事業	昨年に引き続き、平成20年度事業計画の基本方針（下記参照）のもと、公益事業推進体制のさらなる整備を行い、公益社団法人の認定を目指す。 平成20年事業計画（抄） 現定款の下、公益社団法人の認定を受けるため体制を整え、5年以内の認定を目指す。認定基準をみたく下記公益目的事業に取り組む。 公益目的事業：「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第2条別表19（地域社会の健全な発展を目的とする事業）」に合致する”北海道の発展に貢献する事業” 事業は情報の交流を中心とする。なかでも、北海道の情報を道外に発信する分野は北海道にとって必要な分野であるから特に注力する。
2. 管理分野の計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公益社団法人認定に向け、引き続き、新しい公益社団法人の定款について調査、研究、案作成を行う。</li> <li>・公益社団法人認定に向け、新しい会計基準に沿った会計処理を行う。</li> <li>・経常収支差の大幅変更に取り組む。</li> <li>・公益事業引当金を廃したうえ、北海道東京事務所の建て替えに備え、建て替え費用引当金を創設する。また残余の正味財産を公益事業積立金とする。公益事業積立金を、公益事業に活用する。（今年度3百万円超を引落す予定。）</li> <li>・引き続き、公益事業のため、会員増に取り組むと共に、新しい組織・制度の検討を行う。</li> <li>・当法人の各活動について、定款、基本方針、コンプライアンス等の面から検討、調整する。</li> </ul>
3. 新規事業の計画 （別表参照）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、北海道支部でおこなった公益事業提案募集内容の実施検討をする。</li> <li>・昨年の公益事業実施の成果を今年度事業推進に活かす。昨年に続き、下記分野ごとに担当を置き、事業協力・推進する。</li> <li>・新事業の事業分野（含むキャンペーン）               <ul style="list-style-type: none"> <li>北海道情報の発信（北海道情報ラック、北海道”NOW”等）について</li> <li>北方領土問題について（ブラウンリボンバッジ、現地交流など）</li> <li>新幹線北海道延伸について（新幹線バッジ）</li> <li>ふるさと納税について</li> <li>ちょっと暮らしについて</li> <li>道内外の交流、自然の村について</li> <li>アイヌ文化について</li> <li>食について</li> <li>環境問題について</li> </ul> </li> </ul>
4. 既存事業の計画 （別表参照）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度に続き、既存事業を継承しつつ、すべての既存事業に公益性のウェイトを強める。（北海道に対する貢献および会員外の第三者を対象に開かれた活動など公益性に留意する。）</li> </ul>
5. 北海道支部の計画 （別表参照）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道内でのキャンペーン・交流事業、調査研究事業（講演会など）を企画実施する。</li> </ul>

種 別	概 要
6. 組織・体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理部会、新事業部会、既存事業部会、北海道支部の構成メンバーの拡充をする。</li> <li>・ボランティア、企業メセナなどとのタイアップによる公益事業活動の充実にむけ、体制を整備する。</li> </ul>
時期	別表 公益事業計画一覧表 (各部会対応) キャンペーン等の内容詳細は各部会で今後検討する。
1月済	<p>新年交礼会 1月28日(金) 於 ホテルニューオータニ</p> <p>「北方領土返還推進運動」「ブラウンリボンバッジ」キャンペーン</p> <p>「北海道新幹線早期実現」「新幹線バッジ」キャンペーン</p> <p>「ふるさと納税推進」キャンペーン</p> <p>上記キャンペーンを新年交礼会(交流事業)において実施した。 (会員以外含め210名出席:会員外の北海道関係者へも案内通知)</p>
夏	<p>交流の夕べ</p> <p>キャンペーンを目的とした夏の交流事業を実施する。</p>
未定	<p>北海道支部交流の夕べ、特別講演会(仮称)</p> <p>公益事業提案募集ほか、キャンペーン、交流事業を実施</p>
秋	<p>交流イベント 「We Love Hokkaido」</p> <p>(旧道産子の会、北海道関係者・愛する者の集い 500名)</p> <p>キャンペーン、交流事業を実施</p>
未定	<p>特別講演会</p> <p>キャンペーンなどと連携した講演テーマを検討する。 (講演テーマ、行政との協賛などにより公共性のあるものとし、一般参加者を呼ぶ。北海道での開催も検討)</p>
秋	<p>情報展示イベント</p> <p>昨年の北海道フェア参加による情報展示イベントを今年度も検討する。 (道内情報を伝達することを主としたキャンペーン)</p>
随時	<p>会報の発行・配布</p> <p>情報紙「北海道"NOW"」配布の成果も踏まえ、会報の配布先・配布方法、編集内容、発行体制を見直す。</p>
毎月	<p>北海道情報ラック</p> <p>引き続き北海道関連情報を設置先情報ラックに配信する。</p>
随時	<p>ホームページ</p> <p>刷新・更新</p>
随時	<p>行政懇談会</p> <p>北海道・市町村など関係機関との意見交換会(個別自治体対応も検討)</p>
未定	<p>メディア懇談会</p> <p>マスメディアとの融合を図り、道内情報を発信するための懇談会</p>
各会年4回	<p>親睦会</p> <p>・北星会(ゴルフ)、麻雀会、囲碁会の運営体制の整備をおこなう。</p>

# 平成23年度収支予算書

(平成23年1月1日～平成23年12月31日)

	H23予算	H22予算	増減
基本財産収入	400	700	△ 300
入会金	115,000	115,000	0
正会員会費収入	3,540,000	3,795,000	△ 255,000
維持会員会費収入	7,680,000	7,635,000	45,000
広告収入	2,900,000	2,130,000	770,000
交流、キャンペーン等収入	9,400,000	6,965,000	2,435,000
受取利息	33,027	78,127	△ 45,100
雑収入	165,772	128,365	37,407
経常収益計	23,834,199	20,847,192	2,987,007
給料手当	4,050,000	4,000,000	50,000
諸謝金・雑給	600,000	500,000	100,000
法定福利費	500,000	613,815	△ 113,815
福利厚生費	25,500	83,356	△ 57,856
退職給付繰入額	75,000	85,500	△ 10,500
外注費	8,000,000	10,994,925	△ 2,994,925
荷造運賃	271,470	320,550	△ 49,080
広告宣伝費	1,500,000	1,299,000	201,000
会議費	322,885	382,972	△ 60,087
旅費交通費	124,630	93,955	30,675
通信費	1,523,475	1,467,436	56,039
販売品仕入代、手数料	1,200,000	0	1,200,000
会合費	6,437,069	6,972,981	△ 535,912
消耗品費	806,896	362,041	444,855
事務用品費	36,049	42,278	△ 6,229
新聞図書費	102,840	115,765	△ 12,925
諸会費	25,000	20,000	5,000
賃借料	737,818	1,017,807	△ 279,989
リース料	144,900	144,900	0
租税公課	80,000	72,000	8,000
雑費	508,740	257,911	250,829
経常費用計	27,072,272	28,847,192	△ 1,774,920
当期収支差額	△ 3,238,073	△ 8,000,000	4,761,927
期首繰越収支差額	14,909,746	23,527,354	△ 8,617,608
当期収支差額	△ 3,238,073	△ 8,000,000	4,761,927
次期繰越収支差額	11,671,673	15,527,354	△ 3,855,681

H23予算は、H22年実績と同額を基本。  
増減は注記した。

名簿広告増

バッジ収入分

会報業務委託費減

北海道NOW配布コスト

北海道フェア、バッジ発注分

収支差額改善に努める

注記：借入金限度額 0円 債務負担額(限度額) 0円とする。

## 定款第 11 条に基づく会費未納者等の除名について

議案の主旨	1. 会費未納者につき、定款第 11 条第 1 号にもとづき除名する。 (平成 22 年末に再請求を実施済) 2. 連絡先が不明となり、各種案内（会費請求等の連絡）が送付できなくなった会員について、定款第 11 条第 2 号にもとづき除名する。 (会報平成 23 年 1 月号で消息をご存じの方にご連絡を呼びかけ済)
今回の適用対象会員 (平成 23 年 2 月末時点)	1. 会費が平成 20 年、平成 21 年、平成 22 年の 3 年度にわたり未納の会員。 2. 北海道倶楽部に届けられた連絡先で連絡が見つからない、連絡先不明な会員。